

防災訓練の結果の概要 [要素訓練] (案)

1. 訓練の目的

要素訓練は、各手順に対する対応の習熟を目的として実施している。

2. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

(1) 重大事故等対応訓練

機器故障等の事象進展により原災法第15条該当事象に至る事象、または原災法第15条該当事象に至る可能性がある事象を想定した。

(2) モニタリング訓練及びその他必要と認める訓練

具体的な事象は想定せず、原子力災害等が発生した場合において、配備している資機材等の活用が必要となる状況を想定した。

3. 訓練実績

報告対象期間中に実施した要素訓練は以下のとおり。詳細は、添付資料参照。

- (1) 重大事故等対応訓練 ; 実施回数 : 5回, 延べ参加人数 : 932人
- (2) モニタリング訓練 ; 実施回数 : 41回, 延べ参加人数 : 163人
- (3) その他必要と認める訓練 ; 実施回数 : 418回, 延べ参加人数 : 1423人

4. 評価内容

要素訓練については、訓練目的の達成状況について評価している。

報告対象期間中に実施した要素訓練をとおり、現状整備している手順、資機材および要員配置について、あらかじめ定められた機能を有効に発揮できることを確認した。今後も訓練を通じて更なる改善を図っていく。

5. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

報告対象期間中に実施した要素訓練をとおり、更なる改善事項を抽出した。詳細は、添付資料参照。

訓練実績及び今後の原子力災害対策に向けた改善点

(1) 重大事故等対応訓練

訓練項目	内容	対象者	実施回数	参加人数	結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
地震防災訓練	大規模地震、および重大事故等への対応確認を目的とした総合的な訓練 (実施内容に現場実動訓練含む)	緊急事態対策要員 (原子力防災要員含む) 及び 本店緊急事態対策要員	計1回 (12月)	計546人 浜岡：395人 本店：151人	達成	【抽出した課題】 <ul style="list-style-type: none"> 可搬型設備出動までの本部意思決定フローを把握していない要員がいた 【改善点】 <ul style="list-style-type: none"> 本部意思決定フローを明確化したもの社内マニュアル規定するとともに、今後、教育・訓練を通じて要員への定着を図る
図上演習	重大事故等に対する本部運営習熟を目的とした訓練	緊急事態対策要員 (原子力防災要員含む) 及び 本店緊急事態対策要員	計4回 (9月～2月)	計386人 浜岡：267人 本店：119人	達成	【抽出した課題】 <ul style="list-style-type: none"> EAL の先読みがされていなかったため、EAL 該当判断に時間を要する場面があった 【改善点】 <ul style="list-style-type: none"> EAL 判断訓練を実施し、要員の力量向上を図る

(2) モニタリング訓練

訓練項目	内容	対象者	実施回数	参加人数	結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
環境モニタリング訓練	<ul style="list-style-type: none">マルチコプター操作訓練 (放射線量率測定および放射性物質の濃度測定作業)可搬型気象観測装置による操作および測定可搬型モニタリングポストの操作および測定	放射線管理班	計 41 回 (4月～3月)	計 163 人	達成	<ul style="list-style-type: none">特記事項なし <p>(今後も訓練を通じて更なる改善を図っていく)</p>

(3) その他必要と認める訓練

訓練項目	内容	対象者	実施回数	参加人数	結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
重大事故等対処設備取扱いに係る現場訓練	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型注水設備設置 電源車設置 窒素ガス供給設備設置 放水設備設置 燃料プールスプレイ用ポンプ設置 シルトフェンス設置 可搬型設備燃料補給装置設置 燃料補給装置給油 重機運転操作 (20t ブル) 	復旧班	計 47 回 (4 月～3 月)	計 487 人	達成	<p>【抽出した課題】 フォークリフトの運転時に作業エリアの確保や的確な誘導が不十分な場面があった</p> <p>【改善点】 ・フォークリフトの運転操作訓練を実施し、要員の力量向上を図る</p>
電源機能等喪失時訓練	<ul style="list-style-type: none"> 可搬式動力ポンプ設置 災害対策用発電機設置 発電所内通信手段確保 水素爆発防止対策 D/G 燃料移送 	復旧班	計 8 回 (9 月～2 月)	計 122 人	達成	<p>【抽出した課題】 ・指差呼称及び異物確認が不足している場面があった</p> <p>【改善点】 ・訓練を通じて要員への定着を図る</p>
原子力緊急事態支援組織に係る訓練	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔操作ロボット操作 	復旧班	計 18 回 (7 月)	計 21 人	達成	<ul style="list-style-type: none"> 特記事項なし <p>(今後も訓練を通じて更なる改善を図っていく)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 無線重機操作 (訓練場所：美浜原子力緊急事態支援センター) 	復旧班	計 7 回 (9 月～10 月)	計 8 人	達成	<ul style="list-style-type: none"> 特記事項なし <p>(今後も訓練を通じて更なる改善を図っていく)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 無線重機操作 (訓練場所：浜岡原子力発電所 訓練フィールド) 		計 1 回 (10 月)	計 4 人		

訓練項目	内容	対象者	実施回数	参加人数	結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
既設設備 復旧	・RCWS モータ取替	復旧班	計 6 回 (11 月)	計 18 人	達成	【抽出した課題】 ・電動機運搬の技量に比べ足場組立の知識・技量が足りなかった 【改善点】 ・足場組立の技量向上のため、訓練内容の更なる充実を図る
その他 訓練	・重機運転操作（その他重機） ・特殊車両運転操作 ・クレーン運転操作	復旧班	計 330 回 (4 月～3 月)	計 736 人	達成	・特記事項なし （今後も訓練を通じて更なる改善を図っていく）
原子力事業所災害 対策支援 拠点訓練	原子力事業所災害対策支援拠点の設営・運営に必要な資機材の輸送、設営・運営手順の確認を実施し、派遣要員の技能習得、習熟を図ることを目的とした訓練	災害対策 支援拠点 派遣 G	計 1 回 (10 月)	計 27 人	達成	【抽出した課題】 ① 車両スクリーニング記録員が除染後の車両再スクリーニング記録も作成するよう配員したため業務が錯そうした ② 汚染拡大防止の観点から、汚染物品を収容する袋や交換用ゴム手袋があった方が望ましい場面があった 【改善点】 ① 車両スクリーニングエリアと車両除染エリア別々に記録員を配置する ② 物品スクリーニング及び除染エリアに汚染物品用ビニール袋及び交換用ゴム手袋を配備する